

日商簿記2級 とおるテキスト 工業簿記 改訂新版第3版(第1刷)

弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。

訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明致しました。

お手数をおかけして申し訳ございませんが訂正の上、ご利用下さい。

なお、弊社HP[「ネットスクール」検索 「書籍を購入された方へ」]にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用下さいますようお願いいたします。

2011.1.7

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
3-11	総合原価計算の問題の解き方 下より16行目	ここで、電卓の定数計算の機能を使っています。詳しくは3 - 30ページをご覧ください。	ここで、電卓の定数計算の機能を使っています。詳しくは 3 - 25ページ をご覧ください。	
4-17	側注18)	18)完成(1,800kg)と月末(300kg)との合計を当月投入とすることで、自動的に減損分を投入しなかったこととして計算しています。	18)完成(1,500kg)と月末(300kg)との合計を当月投入とすることで、自動的に減損分を投入しなかったこととして計算しています。	
6-5	(2)標準原価差異の把握の計算表	実際原価合計 289,952円	実際原価合計 279,444円	
6-25	固定費能率差異の計算式	固定費能率差異 @30円 × (1,900時間 - 1,938時間) = 380円 固定費率 標準操業度 実際操業度	固定費能率差異 @10円 × (1,900時間 - 1,938時間) = 380円 固定費率 標準操業度 実際操業度	
6-43	Try it 例題	問題文の冒頭の2行目の後ろに右の文章を追加してください。	...原価差異については当月の売上原価に加減算するものとする。 また、製造間接費は直接作業時間を基準に配賦している。	
6-24	製造間接費の差異分析 製品A標準原価カードの下の2行目	月間正常直接作業時間	月間 基準 直接作業時間	2011.1.7

ISBN978-4-7810-3203-0 C1034 ¥1800E